

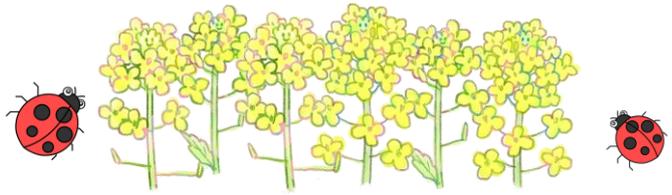
きょうどうさぎょうじょ とうりゅうかい エルファ 共同作業所さんとの交流会

5月にNPO法人京都コリアン生活センター エルファさんにお邪魔して交流会をおこないました。エルファさんは日頃から手話での会話をされているとのことで、最初、職員さんから少し手話を教えていただきました。皆で手話をしていると、「以前手話をしていました」と悠々とされている菜の花の利用者さんがいらっしゃいました。利用者さんの新しい発見ができて、職員も大喜びでした。昼食ではカフェで販売しているご飯をエルファの利用者さんと一緒に食堂で食べました。どのお料理もとても美味しく舌鼓をうちながら、楽しくわいわいと食べる昼ご飯は格別でした。

午後からはエルファさんで販売している「パレ」という海苔の下処理の仕事を体験しました。難しい作業を手慣れた様子で作業されている利用者さんに、教えてもらいながら皆で和気あいあいと作業をしました。最後はすてきなお土産も頂き、とっても充実した1日を過ごすことができました。菜の花の利用者さんもとても良い表情で、「また行きたい」と口々に話しておられました。エルファさんありがとうございました。



しつないへん 室内編



年度が変わり、職員が新たに1名加わったことや日々のアイデアを模索する中でプログラムのバリエーションが増えてきています。利用者さんも新しい刺激の中で発想をふくらませて、なにかの形に残していただいています。そんな躍動感あふれる様子をご覧ください。

みず 水あそび

命に危険をおよぼす酷暑が続きました。こんな記録は歓迎できません。外出で小川で足をつける予定でしたが、授産所内に変更し“大人の水あそび”を行いました。足を水につけたり、ミストをスプレーで再現したり「ワイワイ。キャーキャー。」楽しむことができました。



つく おしるこ作り

思いの外、召し上がることが少ないとうかがい、自宅でもできる“おしるこ作り”をいたしました。飲み込みがしやすいように粘りけの少ない米粉を使用して団子を作りました。団子を丸める時は、不思議とみなさん笑顔になられています。



こい づく 鯉のぼり作り

昨年、布をいただいたので“鯉のぼり作り”を再開することができました。今年は表通りに面した場所に設置させていただきました。これまでで一番大きなサイズでしたので、風のふく時には圧巻の泳ぎがみられました。



リハセン出張講座

正式には『地域リハビリテーション推進講座』といいます。理学療法士さんに来ていただき、パワーポイントを使いながら“作業場でできるストレッチ講座”のご指導を受けました。この日はB型の利用者さんや職員も参加していただき、日々の作業に活かせる講座となりました。



○ 編集後記 ○

昨年度から実習担当をさせて頂いています。授産所では現在、社会福祉士、教員、保育士等を目指す学生の方を受け入れています。短い実習期間で私たちの仕事についてどう伝えればいいのか、他の事業所の方たちの協力を頂きながら実習内容を試行錯誤中です。学生の方たちにとって実習の体験が私たち福祉の仕事の理解につながることに、またこの仕事の楽しさ、魅力を知ることにつながればと思っています。 <篠田>

「授産所だより」H30. 夏号

発行責任者：社会福祉法人京都総合福祉協会 京都市紫野障害者授産所 井上 裕希

発行日：2018年 8月 30日

〒603-8214 京都市北区紫野雲林院町 44-1 tel075-492-8821 fax075-491-2138

URL <http://www.sogofukushi.jp>

E-mail: murasakinoj@sogofukushi.jp